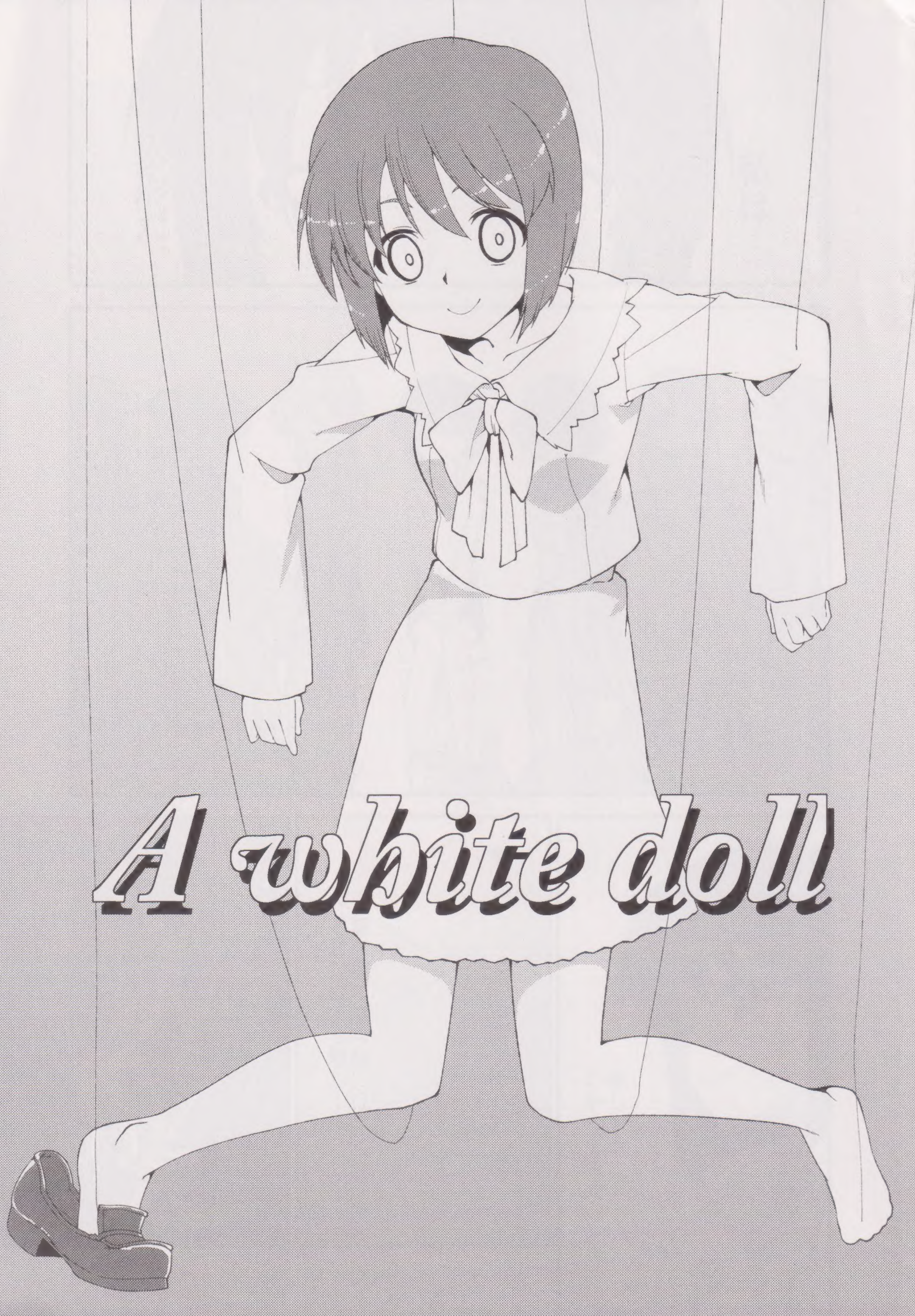
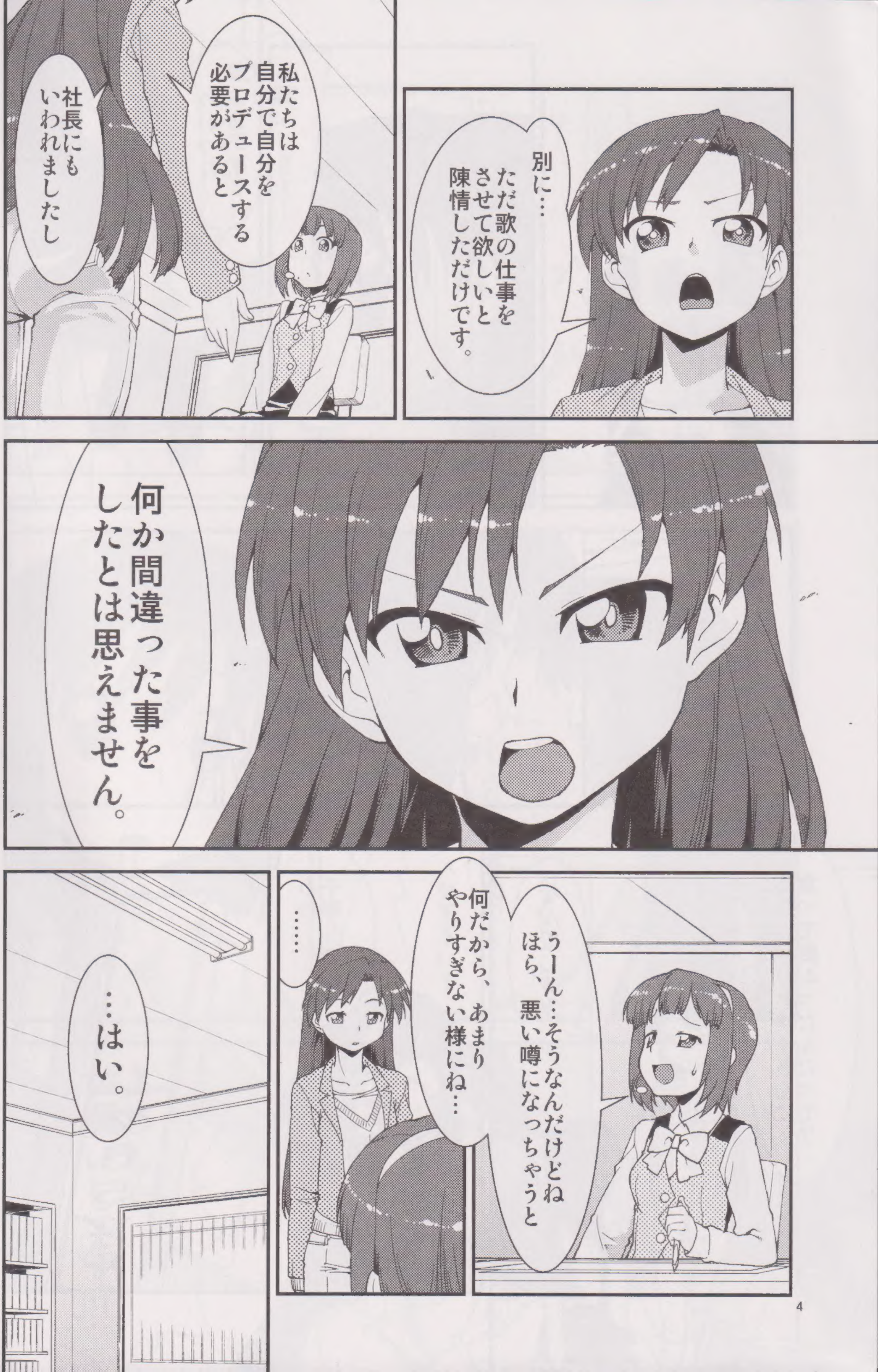
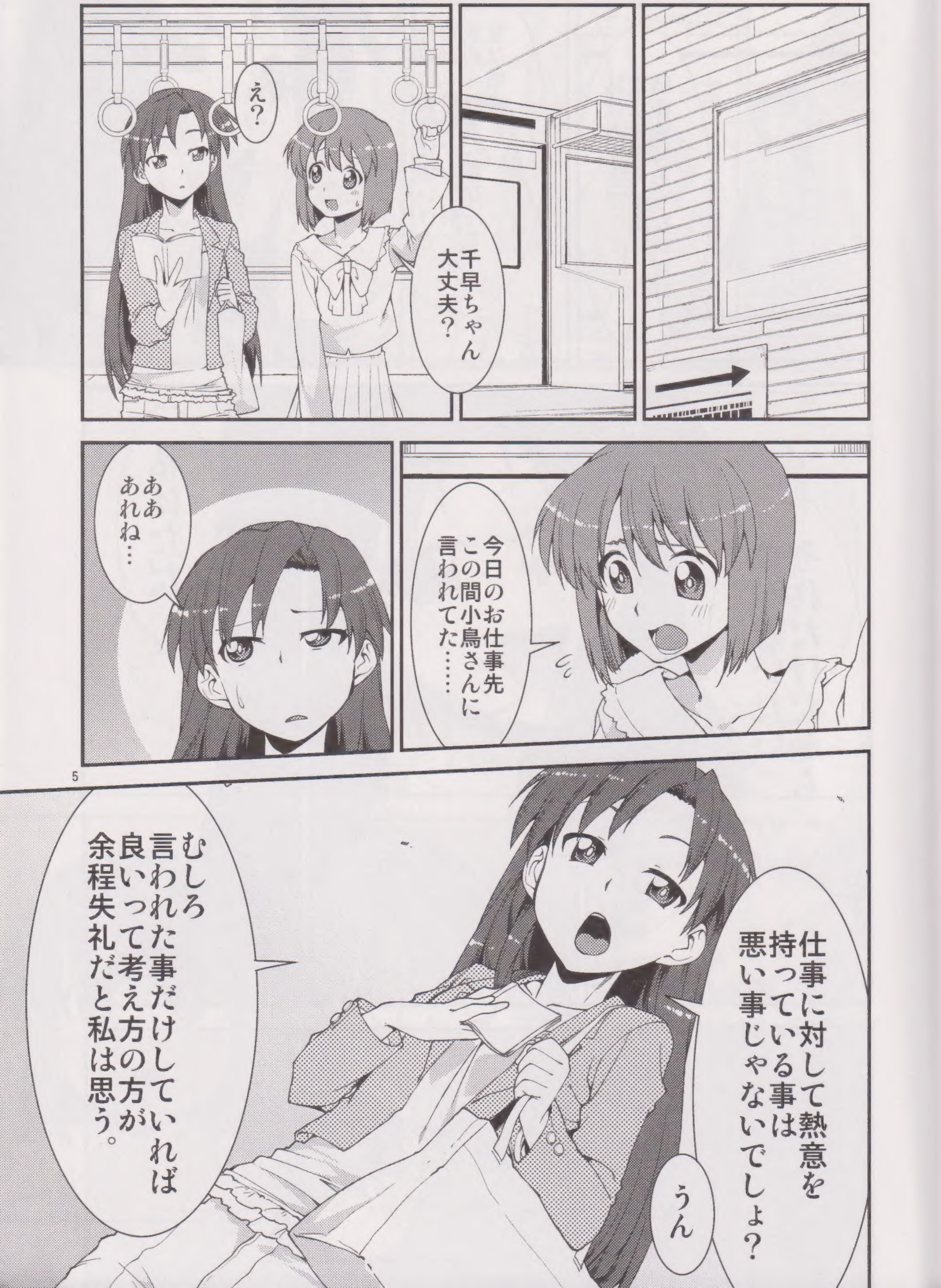

A white doll

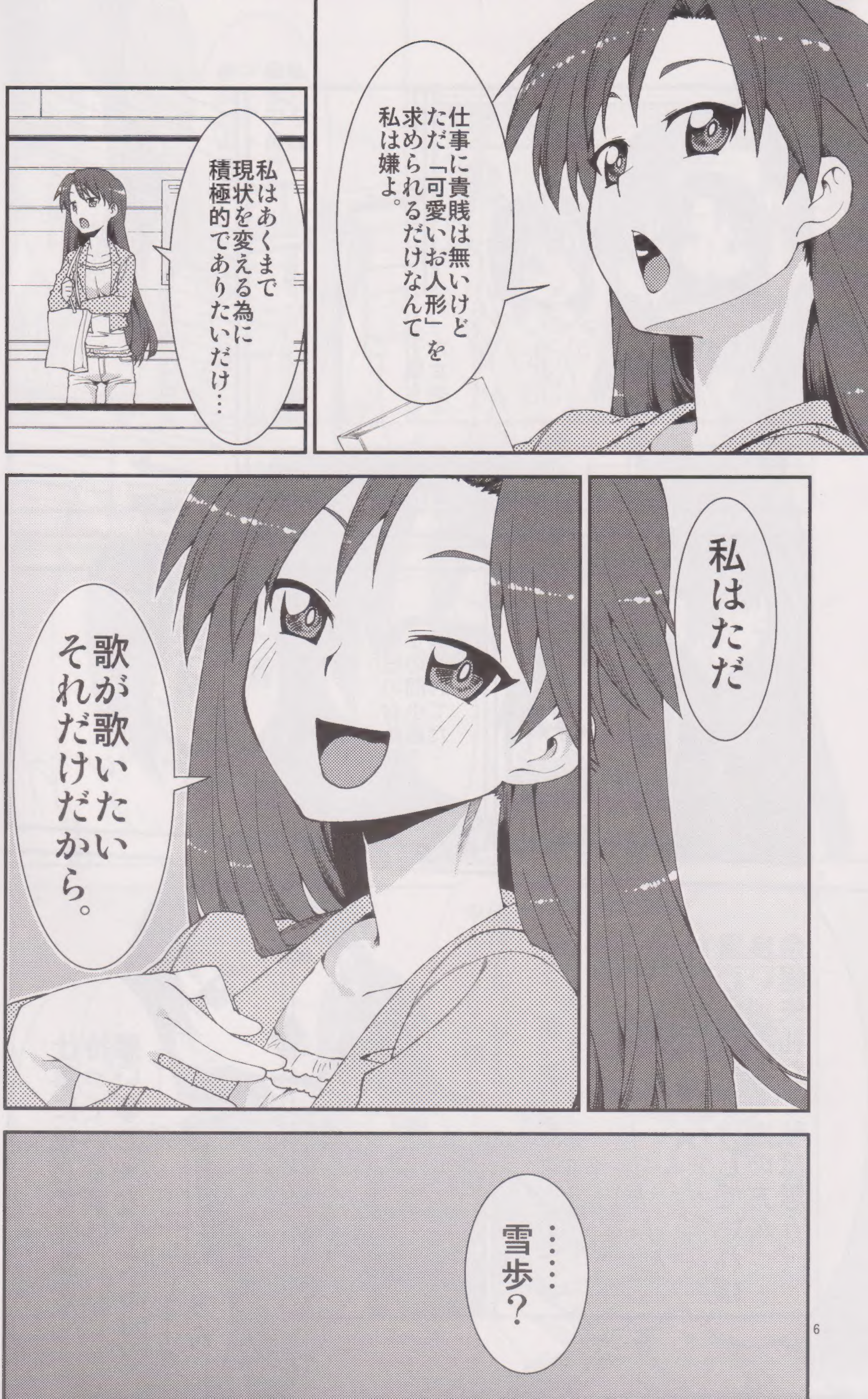

私は
人形だ。
この世界に飛び込んで2ヶ月
私に何が求められているのか
少しずつわかって来た。
黙ってニコニコしている
取り柄の無い私にはそれだけでも難しく感じる。
ちょっとキレイなお人形。
ただ、それだけ。


お疲れ様でした
はーい おつかれさん
お願いします！私に歌わせて下さい！
？
また その話か
どんな短い時間でも 構いません！私にチャンスを下さい！
まぁ、今度 時間が取れたらな
よろしく お願いします!!


わかった
わかった
千早ちゃんは
すごい……
3
765プロ
あの…
千早ちゃん
なんでしょう
えっと…
またディレクターさんに
食って掛かったんだって？


別に…
ただ歌の仕事をさせて欲しいと陳情しただけです。
私たちは自分で自分をプロデュースする必要があると
社長にもいわれましたし
何か間違った事をしたとは思えません。
うーん…そうなんだけどね ほら、悪い噂になっちゃうと
何だから、あまりやりすぎない様にね…
……
…はい。


千早ちゃん
大丈夫？
え？
今日のお仕事先
この間小鳥さんに
言われてた……
ああ
あれね…
仕事に対して熱意を
持っている事は
悪い事じゃないでしょ？
うん
むしろ
言われた事だけしていれば
良いって考え方の方が
余程失礼だと私は思う。



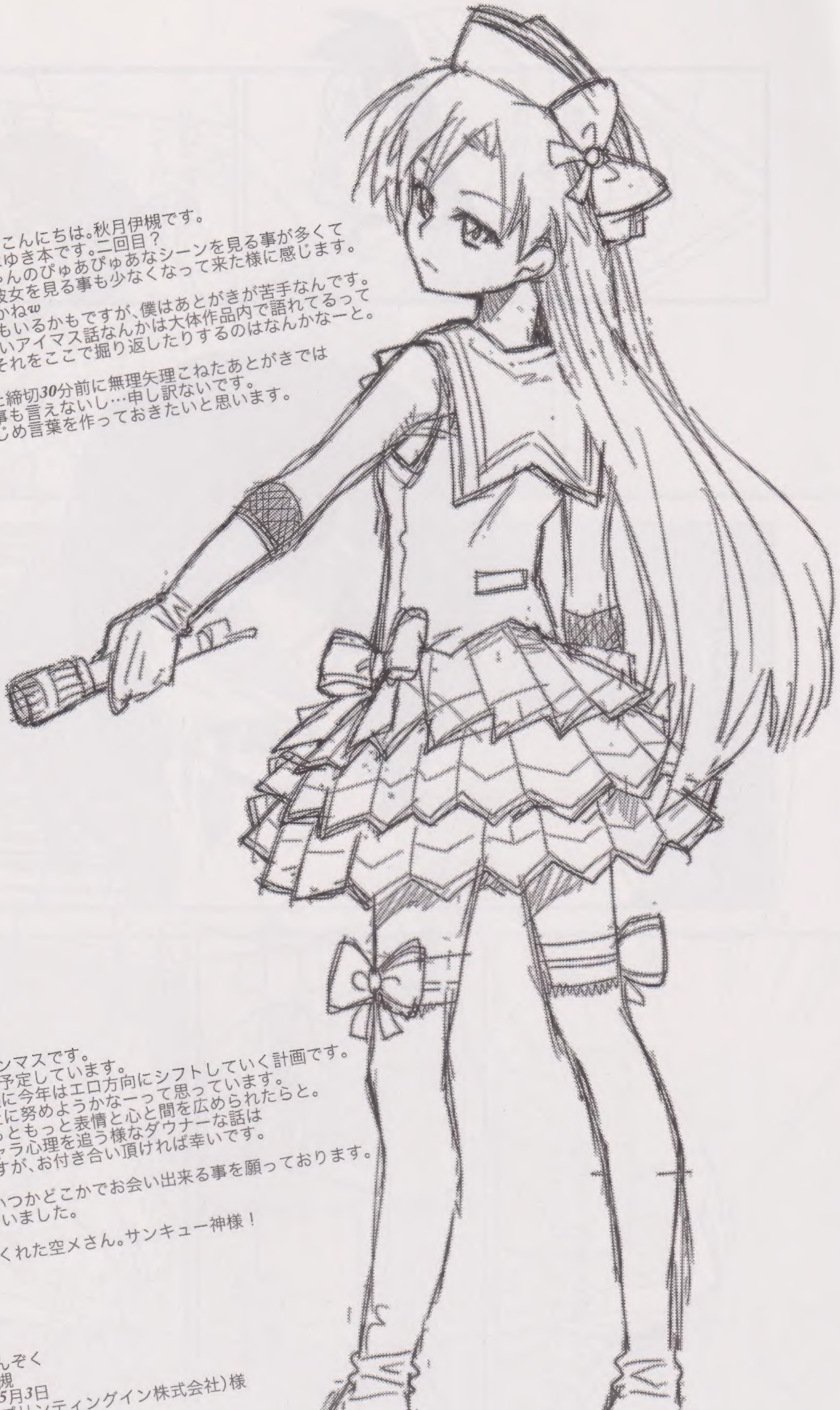
仕事に貴賎は無いけどただ「可愛いお人形」を求められるだけなんて私は嫌よ。
私はあくまで現状を変える為に積極的でありたいだけ…
私はただ
歌が歌いたいそれだけだから。
……雪歩？


おはよう
ございます！
おーい如月
ちょっと来い
え？はい…
お前、今日
歌ってみないか
!?
いいんですか？
是非！
おお
少し時間
取ってやるよ



誰かに言われるまで
その姿を見せつけられるまで
わからないなんて
私はバカだ
私を人形にしてたのは
私自身だ
私は
人形じゃ無い！
給湯室
自分で出来る自分らしさを
ちゃんとやって行かないと
給湯室
今の私が
出来る事……
給湯室


あっ
あのっ！
うん？
お茶、淹れたんですけど
……ど、どうですか？？
END



あとがき

はじめましてとこんにちは。秋月伊槻です。
久しぶりのちはゆき本です。二回目？
最近は千早ちゃんのぴゅあぴゅあなシーンを見る事が多くて
ストイックな彼女を見る事も少なくなって来た様に感じます。
気のせいですかねw
お気づきの方もいるかもですが、僕はあとがきが苦手なんです。
ここで語りたいアイマス話なんかは大体作品内で語れてるって
思っていて、それをここで掘り返したりするのはなんかなーと。

徹夜で迎えた締切**30**分前に無理矢理こねたあとがきでは
気の利いた事も言えないし…申し訳ないです。
次はあらかじめ言葉を作っておきたいと思います。

次のイベントはインマスです。
ゆりしー姉妹本を予定しています。
そしてそれを目処に今年はエロ方向にシフトしていく計画です。
画力と演出の向上に努めようかなーって思っています。
基礎力高めてもっともっと表情と心と間を広められたらと。
エロ中心ではキャラ心理を追う様なダウナーな話は
描けないかもですが、お付き合い頂ければ幸いです。

それでは、またいつかどこかでお会い出来る事を願っております。
ありがとうございました。

あと、手伝ってくれた空メさん。サンキュー神様！

おくづけ

-A white doll-
発行　じこまんぞく
著者　秋月伊槻
発行日　2012年5月3日
印刷所　PICO(プリンティングイン株式会社)様
連絡先　aki.i2ki@gmail.com
URL　http://jikomanzoku.uunyan.com/